

なぜなケアプランセンター



利用者が「出来ないことが増えて情けない。長生きしても家族に迷惑をかけるだけだから早く迎えに来てほしい」と言う。リハビリやデイサービスの利用を進めても断られ続けた。なのに、訪問するたびに「早く迎えに来てほしい」と繰り返す。ある時、「生きる為の相談・支援は出来ても逆の支援はできない」ときっぱり言った。厳しく言ったことを反省したが、利用者は「そうやね」と言う。リハビリ等を進めるのは少し控えようと考えていた時、突然、リハビリがしたいと連絡が入った。厳しい言葉が功を奏したのだろうか。

共生の里ヘルプステーション



10年近くサービスを提供している視力が弱く、難聴の利用者がいる。収納等すべて決まっている通りにしないといけない。食器も積み重ねる順番が決まっている。厳しい利用者で、ミスがあると細かく注意された。大きな声で話すのもなかなか慣れなかった。4～5年前までは、訪問日が近づくと気が重く、交代してほしいと何度も思った。それでも、毎回気を張り詰め、ミスのないようがんばった。今では、色んな会話ができるようになり、信頼してもらっているようだ。時間はかかったけれど、くじけずに通い続けてよかった。

誕生日に寄せて

誕生日は1月1日の元旦です。ずっと大阪にいました。最近、昔のことが思い出せず、うまく言葉に出来ないようですが、今の生活の事を聞くと、「とても楽しいです、ここに来て皆さん優しいですし、私は幸せです」とお話していました。昔の事が思い出せなくても、“今が幸せ”と感じられるのは素敵な事だと思いました。皆さんから祝福の言葉を沢山もらって、笑顔で嬉しそうにしていました。

